

令和5年度「まちづくり懇談会」開催報告書【一関地域】

1 会の概要

日時	10月10日(火) 16:00~18:10	場所	一関工業高等専門学校メディアセンター 2階 ラーニングcommons
対象地区	一関地域全域（設定なし）	対象者	一関工業高等専門学校生 9名 修紅短期大学生 10名 地域協働体関係者 3名
テーマ	(1) 若者の地域コミュニティへの参画について (2) 若者が10年後に地元に戻ってくるには		
参加者	一関工業高等専門学校生 9名、修紅短期大学生 10名 地域協働体関係者 3名		
市出席者	まちづくり推進部長、市長公室長ほか 6名		
特記事項			

2 会で出された意見等及び対応方針

No.	区分	項目	内容	対応方針または回答内容等	備考
1	意見	(1) 若者の地域コミュニティへの参画について	地域にある様々なイベント等をPRして参加する人が増えれば、もっと人と人との繋がりが出来る。 特に、同年代との繋がりがあれば、地域活動へ参加するハードルは低くなる。 地域の中で交流を深めることにより、更に効果的な行事の周知にもつながるのではないかな。		
2	意見	”	現状、地域との関わりが少ない。地域コミュニティは人との関わりが大切で、大人と若者が気軽に挨拶、声掛けをしあうことで、次の会話に繋がる。 まず地域として、大人と若者が関われる環境を作っていくのが大切ではないかな。		
3	意見	”	興味のあることであれば、声を掛けてもらえば進んでやってみようという意欲がある。また、最初は興味がなくても、やってみたら意外とやりがいを感じたとか、楽しかったということはよくある。そうすればどんどん参加したい意欲が増えると思う。 まず参加してもらうため、周知が大事だと思う。		

No.	区分	項目	内容	対応方針または回答内容等	備考
4	提案	(1) 若者の地域コミュニティへの参画について	アプリや SNS の告知機能、メディアなどを積極的に活用することにより、様々な年齢層への、より効果的な周知に繋がる。	いただいた意見、アイデアを持ち帰り、担当課内で共有、検討する。	
5	意見	〃	インスタやXは見るが、テレビなどは寮生になって見なくなった。 情報提供や周知において、発信者と受信者のミスマッチが起きていると思う。そこがマッチしてくれば、情報が繋がりやすくなると思う。		
6	意見	〃	回覧板や掲示板を見る機会がなかなかない。そういう点で、SNS やオンラインの企画をすれば、若者が参加しやすい。		
7	意見	〃	学生（若い世代）を巻き込む、参加しよう、と思わせるには、その人たちのしたいようにさせてくれる、押さえつけずに後押ししてくれる環境が必要。		
8	意見	〃	若い世代がやりたいこと、企画したことを投げかけたときに、否定するのではなく、実現できる方法を示すなど、若者の考えを伸ばすような対応をしてほしい。		
9	意見 提案	〃	若者が安心して子どもたちを遊ばせられるような、安全面に配慮した遊具のある公園があることで、人が集まり、交流する人が増え、地域活動に参加する人も増えるのではないか。		
10	提案	〃	子育てのサポートが必要。また、ショッピングセンターなど、遊べる場所の誘致をすることにより、安心でき、過ごしやすい環境だと考えてもらえる要因になるのではないか。		
11	提案	(2) 若者が 10 年後に地元に戻ってくるには	空き家が増えているので、そういう場所を、屋内の子供の遊ぶ場所など、居場所として活用してはどうか。		

No.	区分	項目	内容	対応方針または回答内容等	備考
12	要望	〃	<p>リターンしてきた先輩や、こちらに入ってきた先輩などの話、声を聞ける場所を増やしてもらいたい。</p> <p>どんな経験をしてきたか、なぜこちらに戻ってきたのかなどの体験談や考えを聴けることで、将来、一関や地元に戻ってくることが、選択肢の一つになるかもしれない。</p> <p>あまり堅苦しくなく、誰でも参加しやすいような場所があればいい。</p>	担当部所へ共有する。	
13	意見	〃	<p>一関にもう少し働く場所があったら、戻ってくること、地元に住ること考えてもよいと思っている。</p> <p>賃金のことを含めて、希望する職種があれば考える可能性はある。</p>	いただいた意見、アイデアを持ち帰り、担当課内で共有、検討する。	
14	意見	〃	<p>中学校、小学校も減ってきているが、高校、修紅短大や一関高専のような、子どもたちが学ぶ場を無くしてほしくない。</p>		
15	意見	〃	<p>貧困な子供への支援として、子供食堂だったり、行事を豊富にすることによって、親の負担を減らしながら一関市に戻りたくなるような取り組みがあると良いのではないか。</p>		
16	意見	〃	<p>みんなどんどん高齢化していけば、介護も負担になってくると思う。</p> <p>そういった際に金銭面で、介護や老人ホーム入居への補助があると安心できるのではないか。</p>		
17	意見	〃	<p>一関市は（公共交通の）便が少なく、駅前などでもそれを待てる間も特にすることがないという現状があるので、便を増やして、流れを良くすることが大切ではないか。</p>		

No.	区分	項目	内容	対応方針または回答内容等	備考
18	提案	〃	遊びに行くとなると仙台や盛岡、あるいは関東圏だったりする。 学校や大学、ラウンドワンやショッピングモールなど若者が楽しめるような施設があると良い。		
19	意見提案	〃	駅前を華やかにして、活気のある街にする。 例えば、一関の市街地にある様々な場所を一つにまとめることにより、1ヶ所に足を向ける要因にもなるのではないかと。 若者が来やすい場所を作ることにより、その地域の盛り上がり、活性化に繋がり、10年後に自分たちの地域に戻ってきたいと思うことができると思う。	いただいた意見、アイデアを持ち帰り、担当課内で共有、検討する。	
20	意見提案	〃	一関文化センター以外でも、地域のお祭りや若者が集まる場所、子供たちが成果を発揮(発表)できるような場所を作ってあげたら、もっと地域活性化に繋がると思う。		
21	提案	〃	平日は関東圏などで仕事をして、休日だけ戻ってくる際に交通費などのサポートをすることで、間接的ではあるが、戻ってくるができるのではないかと。 希望は全額、あるいは8割くらいの補助だと良い。		
22	提案	〃	何か、一関市独自の支援制度があれば、将来、何かの際に戻ってこようと思える要因になり得るのではないかと。		

No.	区分	項目	内容	対応方針または回答内容等	備考
23	提案	〃	<p>一関に限らず、自治体の SNS は全部受動的な SNS 発信だと感じている。もっと能動的な SNS 発信をしたら良いと考えている。受動的というと、HP、LINE、Instagram、X もそうである。</p> <p>色々やってはいると思うが、結局学生は、見ようと思っは見ない。フォローしないと見ない。だから情報にたどり着かないし、おすすめにしても出てこない。結局受動的な運用となっている。</p> <p>例えば、地域限定広告なども出せるので、そういう能動的な SNS 運用をしたら、もっと変わるのではないか。</p>	<p>いただいた意見、アイデアを持ち帰り、担当課内で共有、検討する。</p>	
24	要望	〃	<p>ILC についてお願い。</p> <p>もっと全国的に広報というか、周知を頑張ってほしい。</p> <p>ILC は全国的にも、全世界的に見ても珍しいと思う。広めることで、世界中の科学者や専門職の方が集まるので、なるべく ILC の発信をお願いしたい。</p>		